

幼小中一貫校づくりに関するQ&A⑦

平成27年12月25日発行

平成27年度も残すところあと3か月となりました。12月初めに「福部未来学園」の学園章、学園歌の歌詞も決定しました。平成28年度の開校時には、学園歌も披露できると思います。

さて、今回はビジョン図の中にある「鳥取市版コミュニティ・スクール」について、お答えします。



Q1 「コミュニティ・スクール」って

どんな学校なの？



A1 「コミュニティ・スクール」とは、以下のような学校を指します。

「コミュニティ・スクール」とは、

「学校運営協議会」を設置している学校を指します。

※「学校運営協議会」を置く学校は、教育委員会が学校や地域の実情に応じて指定します。

◆「学校運営協議会」の主な役割

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
 - 学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができること
 - 教職員の任用に関して、教育委員会に意見を出すことができること
- (地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5 H16制定)

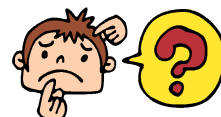
学校運営の責任者は「校長」ですので、福部未来学園の学校運営協議会の場合も、「学校の良きパートナー」として、「ふるさとの未来を拓き、創造する福部の宝」の育成について、ともに考え、協働していく機関と言うことになるでしょう。

現在、福部地域には「学校運営協議会」はありませんが、幼小中一貫校の開校に向けた「幼小中一貫校推進委員会」が設置されており、委員は鳥取市教育委員会から委嘱されています。また、同様に「学校評議員制度」による評議員が、鳥取市教育委員会から委嘱されています。評議員については、小学校・中学校で別々だったものを、今年度から「小・中学校」の評議員としています。

平成28年4月開校に向けて、「福部地域幼小中一貫校推進委員会」と「学校評議員会」のあり方について検討していく予定です。

Q2 どうして「コミュニティ・スクール」に

するの？

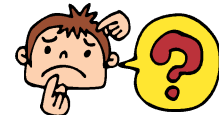


A2 「福部未来学園」は福部地域の学校に対する「思い」が形となって現れたものと言っても過言ではありません。したがって、学校運営に当たって、保護者や地域の方の参画が引き続き「仕組み」として保障されていくことが必要となります。それが「学校運営協議会」なのですが、福部地域にはその「仕組み」がすでにでき上がっています。した

がって、「コミュニティ・スクール」をめざすと言うよりも、現在の「仕組み」を整理・収れんしていくと「コミュニティ・スクール」という形になるという考え方が妥当でしょう。

文部科学省の調査データによりますと、「コミュニティ・スクール」に指定された学校では、「社会総掛かりでの教育の実現」をめざした取組が進められ、地域連携に関する成果のみならず、教職員の意識改革や、学力向上・生徒指導の課題解決においても、成果が認識されているとのこと。参考までに、平成27年4月現在の「コミュニティ・スクール」数は、44都道府県内に2,389校（幼稚園95、小学校1,564、中学校707、高等学校13、特別支援学校10）となっています。ちなみに鳥取県は7校（南部町4、伯耆町3）です。

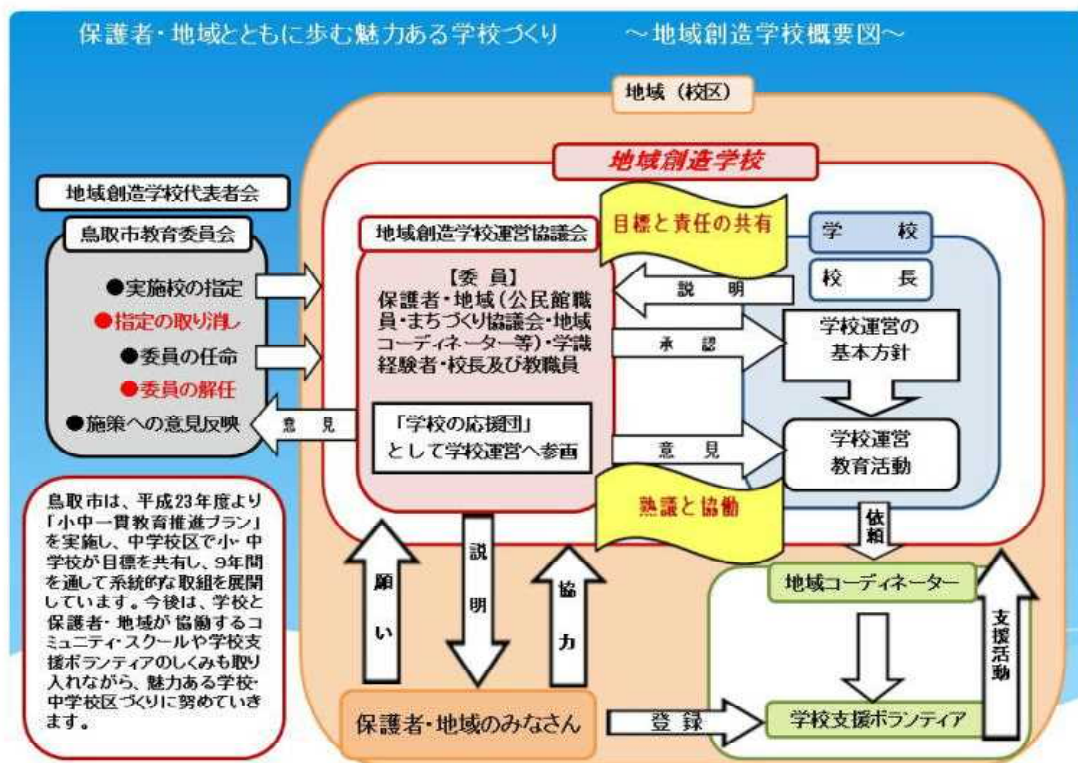
Q3 「鳥取市版コミュニティ・スクール」 って何が特色なの？



A3 鳥取市は、平成26年度より「鳥取市版コミュニティ・スクール（地域創造学校）」の取組を進めています。

「鳥取市版コミュニティ・スクール（地域創造学校）」は、鳥取市教育委員会及び校長の権限と責任の下、地域の特色を生かし、保護者及び地域の方の学校運営への参画と協働を進めることにより、学校と地域の方との双方向の信頼関係を深め、魅力ある学校づくりを推進するものです。取組をとおして、児童生徒の確かな学びと豊かな育ちを創造することを目的としています。この目的は「コミュニティ・スクール」と同じです。

大きな違いは、「地域創造学校（鳥取市版コミュニティ・スクール）」は、A1にあった「教職員の任用に関して、教育委員会に意見を出すことができる」という「人事」に係る役割がないということです。下図に概要を示していますのでご覧ください。



引用資料：文部科学省「コミュニティ・スクール2015」
文責：幼小中一貫校推進委員会啓発部会 長石 彰(福部中学校教頭)